

狭山池ダムでの 池干し実証実験について

平成28年11月

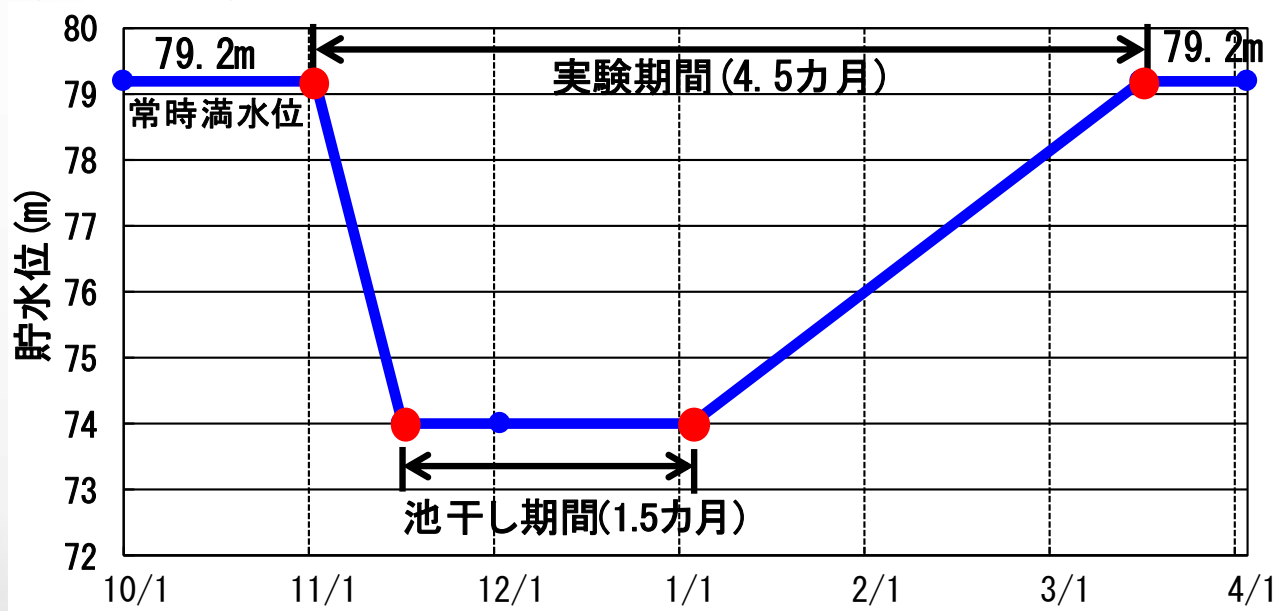
大阪府富田林土木事務所

実証実験の目的

- 近年課題となっているアオコの発生を含めた水質改善対策として、ダム工事以前には行われていた池干しを行い、水質や底泥の変化をモニタリングし、効果を検証するもの。
(H26年度から実施しており、今年度で3回目です。)

実証実験計画

- 実験期間：11月初旬～翌年3月中旬（約4.5カ月）
- 池干し期間：11月中旬～1月初旬（約1.5カ月）
- 低下水位（水深）：74.0m（約5m低下）



水利関係者へのお願い

- 実験期間中は第1取水設備（取水塔）及び第2取水設備からの取水はお止め下さい。
- 実験期間中のダム下流への放流は、西除川のみで行います。
- 水位低下のための放流は、第2取水設備箇所併設の緊急放流設備から行うため、放流期間中は西除川の水位が約20 cm程度上昇します。
このため、ダム下流での取水施設管理者様は御注意下さい。
- 池干し後、3月中旬までに水位回復するために西除川下流への放流量を制限することもありますのでご了承願います。
- 実験期間中の天候等により計画を変更することがあります。

ダム平面図

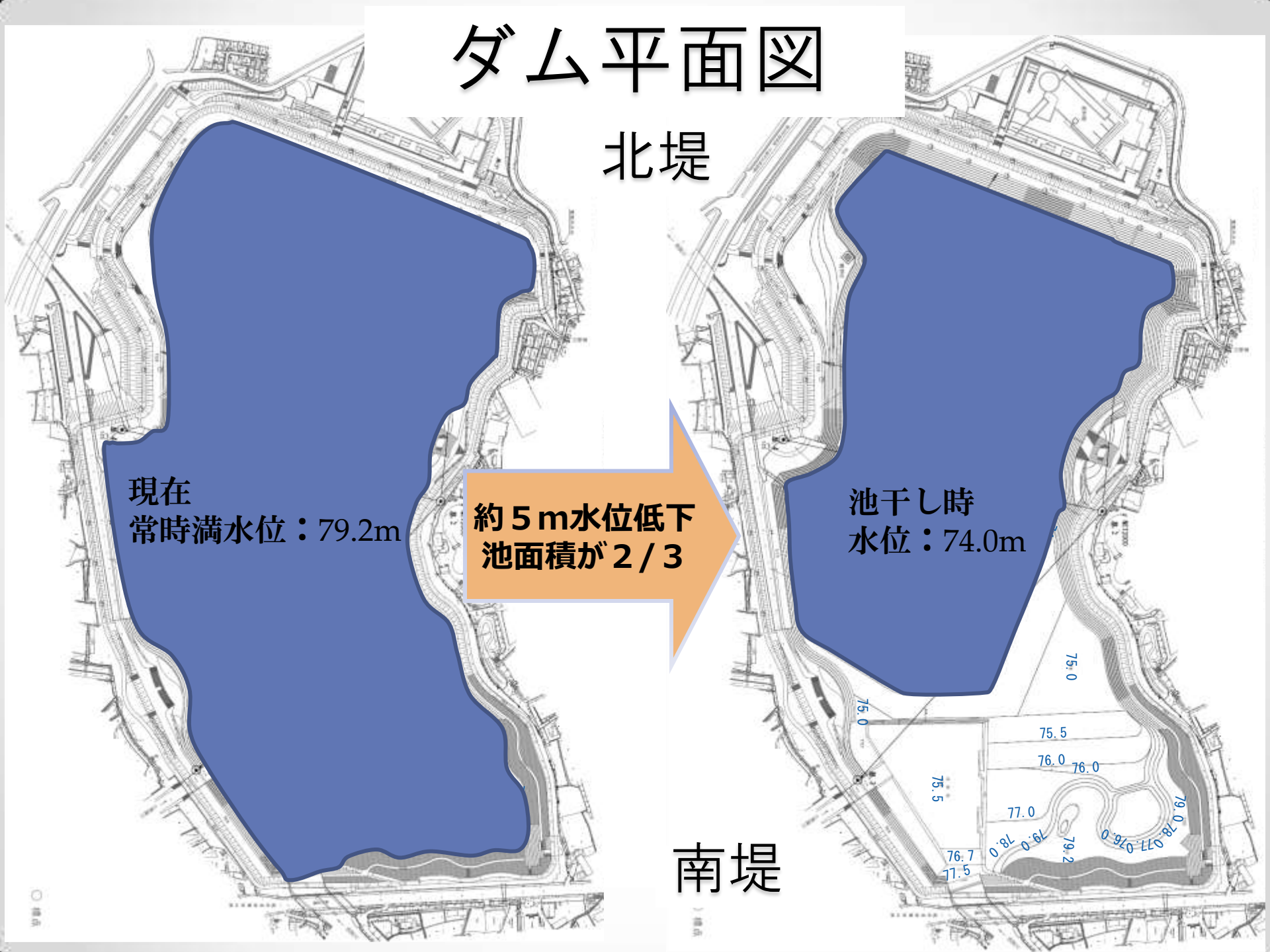
北堤

現在
常時満水位：79.2m

約 5 m 水位低下
池面積が 2 / 3

池干し時
水位：74.0m

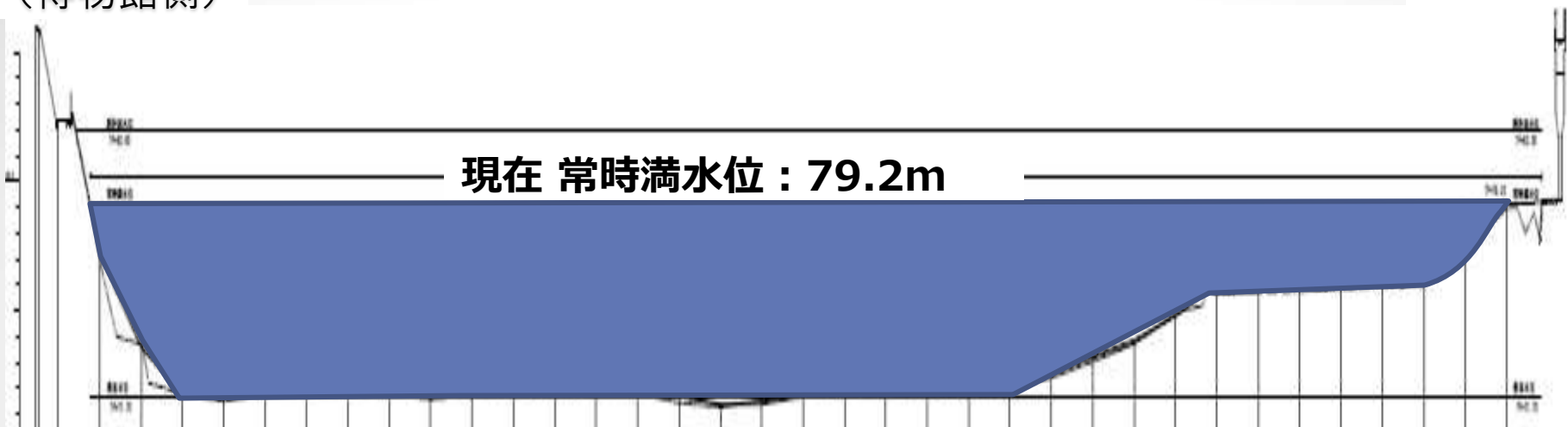
南堤



ダム断面図 (北堤～南堤)

北堤
(博物館側)

南堤



約 5 m 水位低下
容量が 1 / 4

